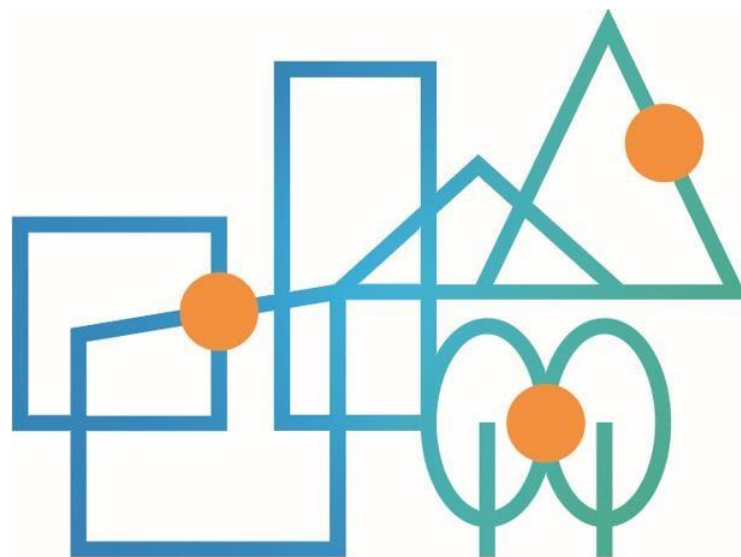


脱炭素先行地域に県内初の選定

次世代のための学園都市型カーボンニュートラル
～住みたい、働きたい、学びたいまち、東広島～



脱炭素先行地域

広島県東広島市



令和6年9月27日、広島県、広島大学等と共同提案した脱炭素先行地域計画提案書により、環境省から脱炭素先行地域（第5回）として県内で初めて選定された。

- ・提案内容

次世代学園都市構想のモデル地区である広島大学周辺を先行地域に設定し、学生街の集合住宅等の再エネ電力・省エネ設備の導入により、先行地域内の民生部門（家庭部門及び業務その他部門）の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを、2050年に先駆け、2030年度までに実現。

- ・計画提案者

主たる提案者：東広島市

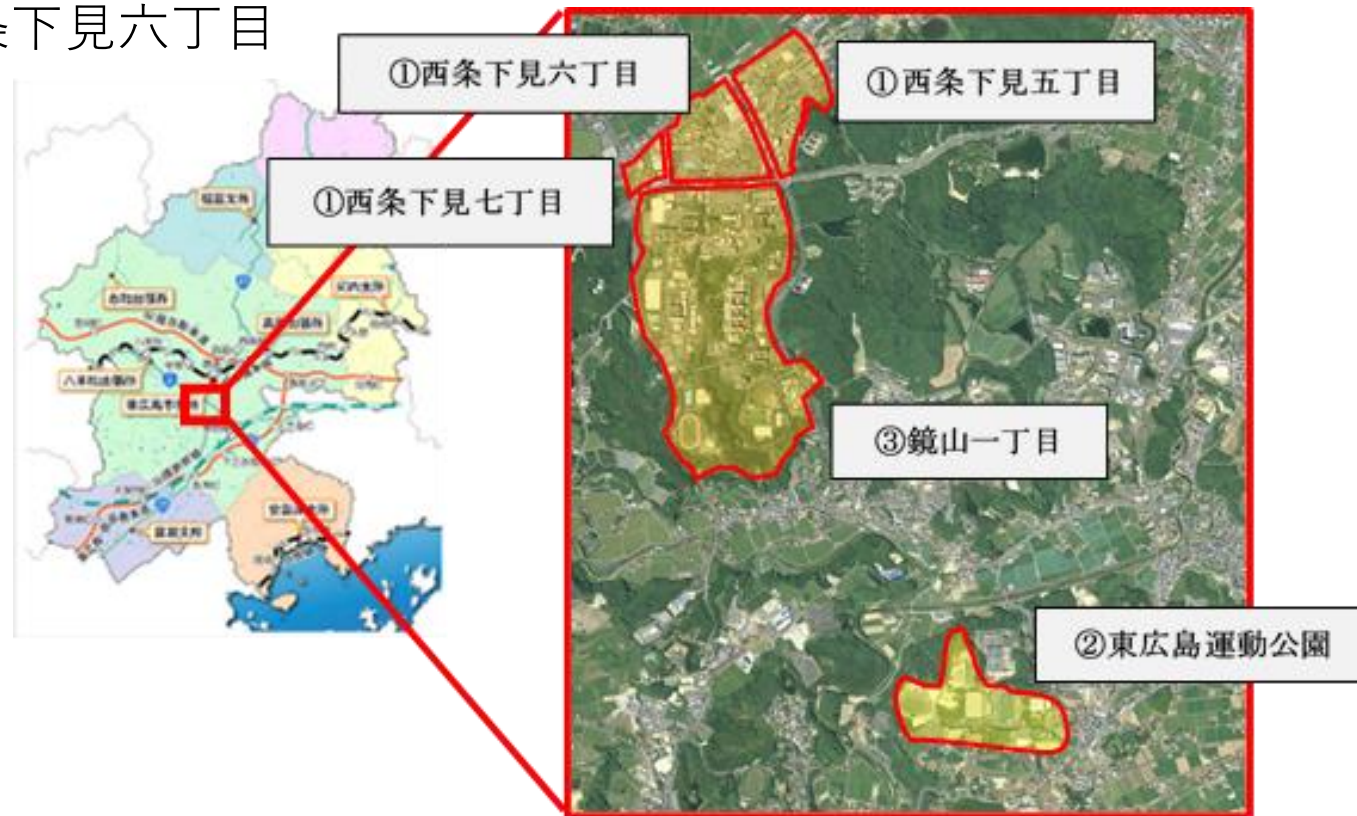
共同提案者：広島県、国立大学法人広島大学、東広島スマートエネルギー(株)
(株)広島銀行、広島ガス(株)

対象エリア



脱炭素先行地域
広島県東広島市

- 1 下見エリア
西条下見五丁目、西条下見六丁目
西条下見七丁目
- 2 再エネ供給エリア
(東広島運動公園)
- 3 広島大学エリア
(鏡山一丁目)

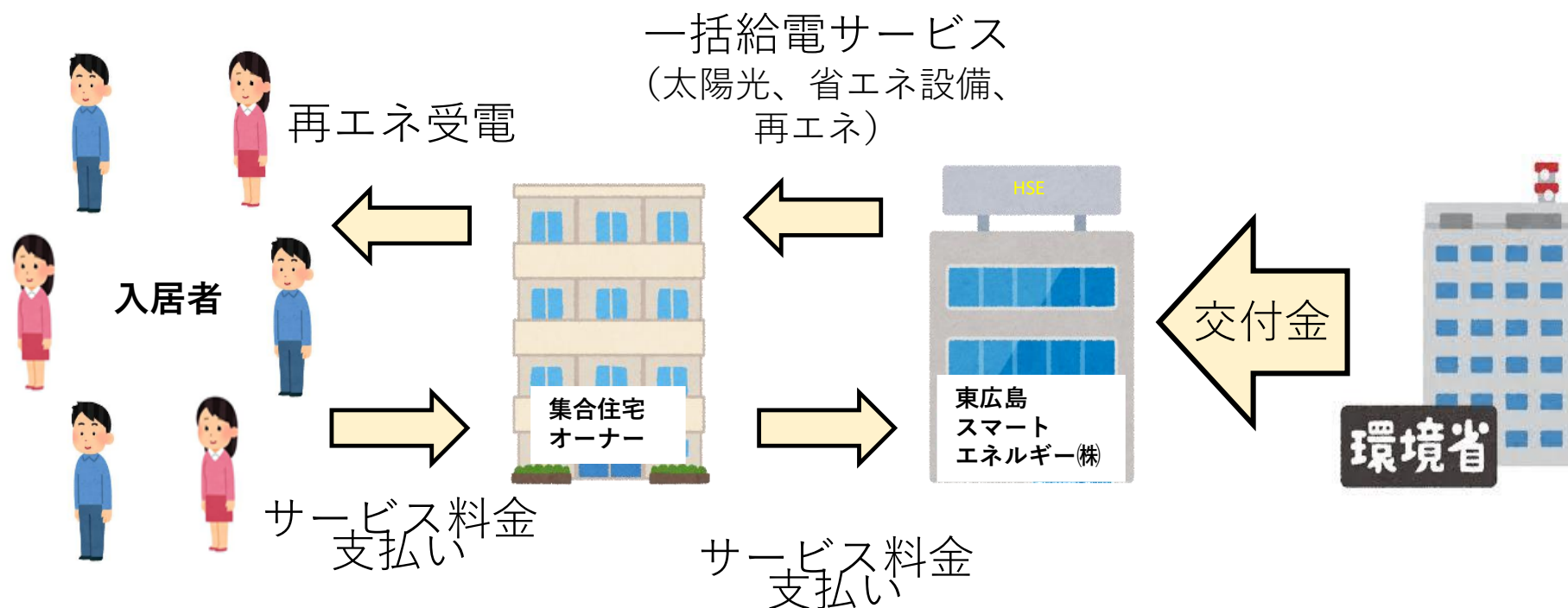


主な取組み（下見エリア）



脱炭素先行地域
広島県東広島市

・既存の集合住宅に太陽光発電設備・蓄電池を組み合わせたエネマネを実施することで、高圧・低圧問わず一括受電サービスを提供。空調や給湯の更新を行い省エネ化も推進。

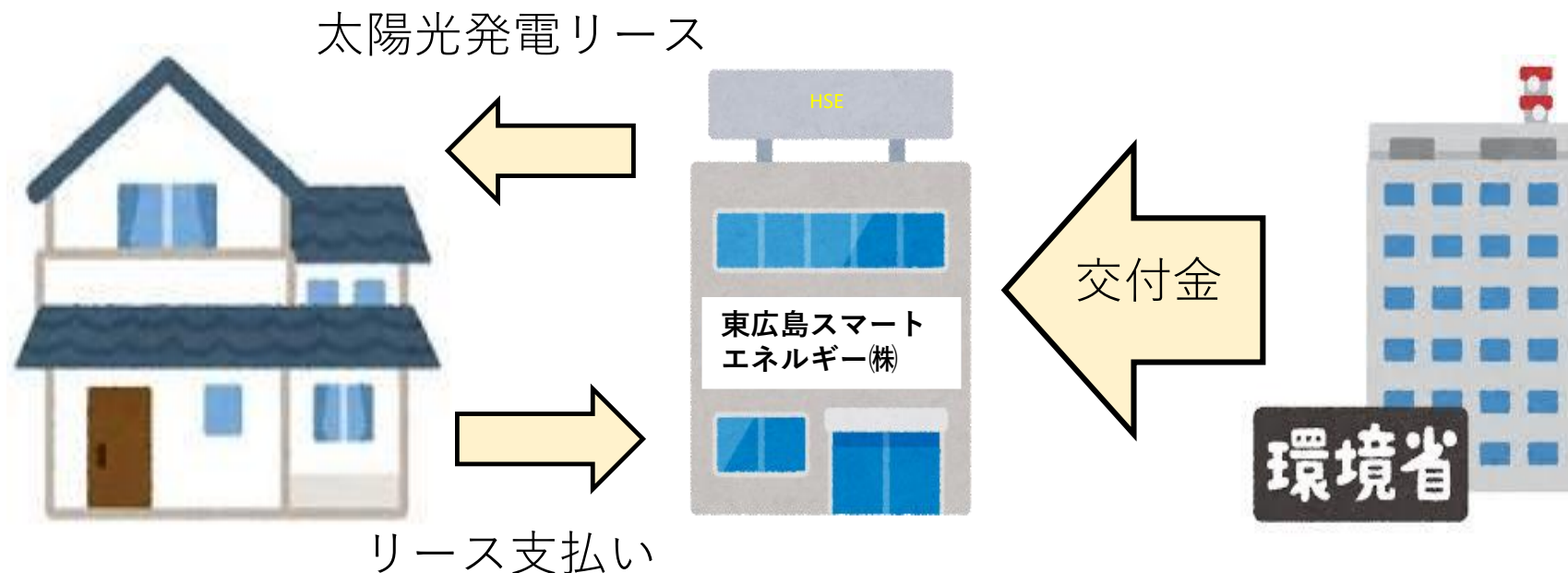


主な取組み（下見エリア）



脱炭素先行地域
広島県東広島市

- ・地域エネルギー会社、地元事業者、首都圏の太陽光サービス事業者と連携し、戸建住宅に対する太陽光発電設備・蓄電池のリースサービスを実施。



※東広島スマートエネルギー(株)（HSE）が国の交付金を活用し、市場より安価な太陽光発電リースサービスを先行地域の戸建住宅へ提供する。

主な取組み（東広島運動公園、鏡山一丁目）



脱炭素先行地域
広島県東広島市

・再エネ供給エリア（東広島運動公園）

東広島運動公園駐車場等の屋外スペースを活用し、太陽光発電設備(2.7MW)を導入。

施設の自家消費電力を賄いつつ、余剰電力は地域エネルギー会社を買電し、下見エリアへ供給する。

・広島大学エリア（鏡山一丁目）

PPAで太陽光発電設備(6.6MW)を導入。

「国立大学法人等施設整備補助金」を活用し、ZEB化を目標にした省エネ機器の導入も実施。

予算規模・スケジュール



脱炭素先行地域
広島県東広島市

予算規模

- ・総事業費 92.5億円
 - ・交付上限額 40.3億円
- (交付年度 2025年度から2029年度まで)

スケジュール

- ・計画期間 2024年度から2030年度まで

2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
			集合住宅の一括受電の導入			
			戸建住宅の再エネ設備の導入			
				再エネ設備の導入（運動公園）		
		再エネ設備の導入（広島大学）				
			EV化推進			